

2025年1月15日

報道関係者各位

マニユライフ生命保険株式会社

**45校90名が2月23日(日)に東京で開催される全国大会に出場  
マニユライフ生命カップ 第19回 エコノミクス甲子園全国大会出場チームが決定！  
～金融リテラシー教育の推進のため11年連続メインスポンサーとして協賛～**

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO:ブノワ・メスレ、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、高校生を対象とした金融経済クイズ大会「マニユライフ生命カップ第19回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園」に11年連続でメインスポンサーとして協賛します。この大会は認定NPO法人 金融知力普及協会が主催しており、マニユライフ生命は若い世代の金融リテラシー向上を支援するため、昨年から、全国大会に出場する生徒全員に経済学の図書教材を贈呈しています。

2025年2月23日(日)に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される全国大会に向け、11月から12月にかけて313校、731チーム1,462名が地方大会で競いました。その結果、45校、90名の高校生が「マニユライフ生命カップ 第19回 エコノミクス甲子園」全国大会への出場が決まりました。全国大会では、全国No.1の金融知力を目指して高校生たちが全力で戦います。



マニユライフ生命は、お客さまとご家族が将来の経済的な安心を得るために、正確な情報に基づいた確かな選択を行うことを支援しています。また、「持続的な心身の健康の増進」「インクルーシブなビジネスチャンスの促進」「持続可能な未来への加速」の3つを柱とした「インパクト・アジェンダ」を社会貢献活動の中核とすることで社会や環境にポジティブで持続可能な影響を与えることを目指しています。

本大会の「社会に羽ばたく前の高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、『自分のライフデザイン』や『自分とお金の関わり方』を、クイズを通して考えてもらうきっかけとする」という趣旨は、生命保険業界が重点的に取り組む「金融リテラシー教育の推進」に注力する当社のミッションと重なり、マニユライフが掲げるインパクト・アジェンダにも合致しています。この大会が参加者と彼らの将来の経済的な幸福度にポジティブな影響を与えることを楽しみにしています。

また、この取り組みは、国連の持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)のひとつである「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」にもつながっています。当社は、今後もこのような取り組みを通して、次世代を担う人々の金融知力向上に貢献したいと考えています。



北海道大会優勝校「旭川市立・北海道旭川東高等学校」  
での教材贈呈式(2024年12月13日実施)の様子



富山大会優勝校「富山高等専門学校 射水キャンパス」  
での教材贈呈式(2024年12月25日実施)の様子

当社は昨年度からの取り組みとして、全国大会に出場する各地方大会の優勝校の生徒に経済学の図書教材を贈呈しています。この教材は、全国大会に向けて活用いただくとともに、エコノミクス甲子園の成績優秀者が出場する「IEO国際経済オリンピック」に備えるためのものです。無償で提供するこの教材を通じて、世界の舞台で活躍する若者たちを応援します。

### マンユライフ生命について

マンユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マンユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マンユライフ)のグループ企業です。お客さまがより簡単に最適な保障を選択し、より良い毎日を送るためのお手伝いをします。当社に関する情報は、公式ウェブサイト(<https://www.manulife.co.jp>)、およびLinkedIn アカウント(<https://www.linkedin.com/company/manulife-japan/>)をご覧ください。

マンユライフ生命は今年、「トップ・エンプロイヤー・ジャパン 2024」に認定され、日本で「優れた雇用主」として認定された14社のうちの1社です。



### 全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』について

エコノミクス甲子園は、第1回大会(2006年に地方大会、2007年に全国大会を開催)以来、第19回大会までで全国延べ6,127校から30,887名の高校生がチャレンジしてきました。参加者は同じ学校に通う生徒二人一組でエントリーし、エコノミクス甲子園を企画・主催する認定NPO法人金融知力普及協会から提供される事前学習教材で金融知力を身につけ、地方大会(インターネット大会含む)に臨みます。地方大会(インターネット大会含む)の勝者は毎年2月に開催される全国大会に進み、全国大会で優勝を果たしたペアには、優勝トロフィーおよび、副賞として海外研修旅行が贈られます。また、認定NPO法人金融知力普及協会は返済不要の「金子・森育英奨学金」を給付しており、全国大会参加者のうち、所定の条件を満たす希望者の中から1~3名を選考し、全国大会で発表します。全国大会および奨学金についての詳細は公式ウェブサイト(<https://econ-koshien.com/>)をご参照ください。

### 認定NPO法人金融知力普及協会について

金融知力普及協会とは、全ての人々に金融知力の重要性ならびにその必要性を知っていただき、その金融知力を身につけていただくためのお手伝いをする特定非営利団体です。消費者、財界、教育界、金融界などから広く知恵を集め、会の趣旨に賛同する会員により支えられ、すべての人に金融知力を養ってもらうために活動します。詳細は公式ウェブサイト(<https://www.apfl.or.jp>)をご参照ください。

<別紙>

第19回エコノミクス甲子園 全国大会出場校一覧

大会名	主催金融機関	学校名	全国出場歴
北海道	北海道銀行	北海道旭川東高等学校	3年ぶり6回目
青森	みちのく銀行 / 青森銀行	青森県立青森高等学校	5年連続9回目
宮城	七十七銀行	宮城県仙台第二高等学校	6年ぶり6回目
秋田	秋田銀行	秋田県立秋田南高等学校	初出場
山形	山形銀行	山形県立山形東高等学校	3年連続6回目
福島	東邦銀行	福島工業高等専門学校	10年ぶり2回目
茨城	筑波銀行	茨城県立日立第一高等学校	初出場
栃木	足利銀行	白鷗大学足利高等学校	2年連続2回目
群馬	群馬銀行	群馬県立前橋高等学校	9年ぶり3回目
埼玉	埼玉りそな銀行	早稲田大学本庄高等学院	13年ぶり3回目
千葉	千葉銀行 / 千葉興業銀行	千葉県立千葉高等学校	2年連続4回目
東京	りそな銀行	早稲田大学高等学院	初出場
神奈川	横浜銀行	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	2年連続2回目
新潟	第四北越銀行	新潟県立新津高等学校	初出場
富山	北陸銀行	富山高等専門学校	初出場
石川	北國銀行	石川県立金沢泉丘高等学校	11年ぶり2回目
福井	北陸銀行	福井県立藤島高等学校	4年連続9回目
山梨	山梨中央銀行	駿台甲府高等学校	5年連続5回目
長野	八十二銀行 / 長野銀行	長野県松本県ヶ丘高等学校	初出場
岐阜	十六銀行	岐阜県立岐阜高等学校	2年連続12回目
静岡	静岡銀行	静岡県立沼津東高等学校	2年ぶり2回目
愛知	愛知銀行 / 中京銀行	愛知県立江南高等学校	初出場
三重	百五銀行	三重県立四日市高等学校	初出場
滋賀	関西みらい銀行	滋賀県立守山高等学校	3年連続5回目
京都	京都銀行	京都府立京都すばる高等学校	初出場
大阪	りそな銀行 / 関西みらい銀行	四天王寺高等学校	初出場
兵庫	池田泉州銀行	灘高等学校	4年連続11回目
奈良	南都銀行	東大寺学園高等学校	3年ぶり9回目
和歌山	紀陽銀行	智辯学園和歌山高等学校	3年連続5回目
鳥取	山陰合同銀行	鳥取県立米子東高等学校	2年ぶり2回目
島根	山陰合同銀行	松江工業高等専門学校	5年ぶり3回目
岡山	中国銀行	岡山白陵高等学校	2年連続7回目
広島	もみじ銀行	修道高等学校	2年連続4回目
山口	山口銀行	慶進高等学校	2年連続3回目
徳島	阿波銀行	徳島県立城東高等学校	3年ぶり7回目
香川	百十四銀行	香川県立高松高等学校	2年連続12回目
愛媛	伊予銀行	愛光高等学校	8年ぶり5回目
福岡	北九州銀行	福岡県立東筑高等学校	3年連続3回目
佐賀	佐賀銀行	弘学館高等学校	2年連続5回目
長崎	十八親和銀行	長崎県立長崎東高等学校	初出場
大分	SBI損害保険	大分県立大分上野丘高等学校	2年ぶり2回目
宮崎	宮崎銀行 / 宮崎太陽銀行	鵬翔高等学校	初出場
沖縄	沖縄銀行	昭和薬科大学附属高等学校	2年連続13回目
インターネット	住信SBIネット銀行	芝高等学校	初出場
台湾	台湾経済学オリンピック競技組織	臺中市私立明道高級中學	初出場